

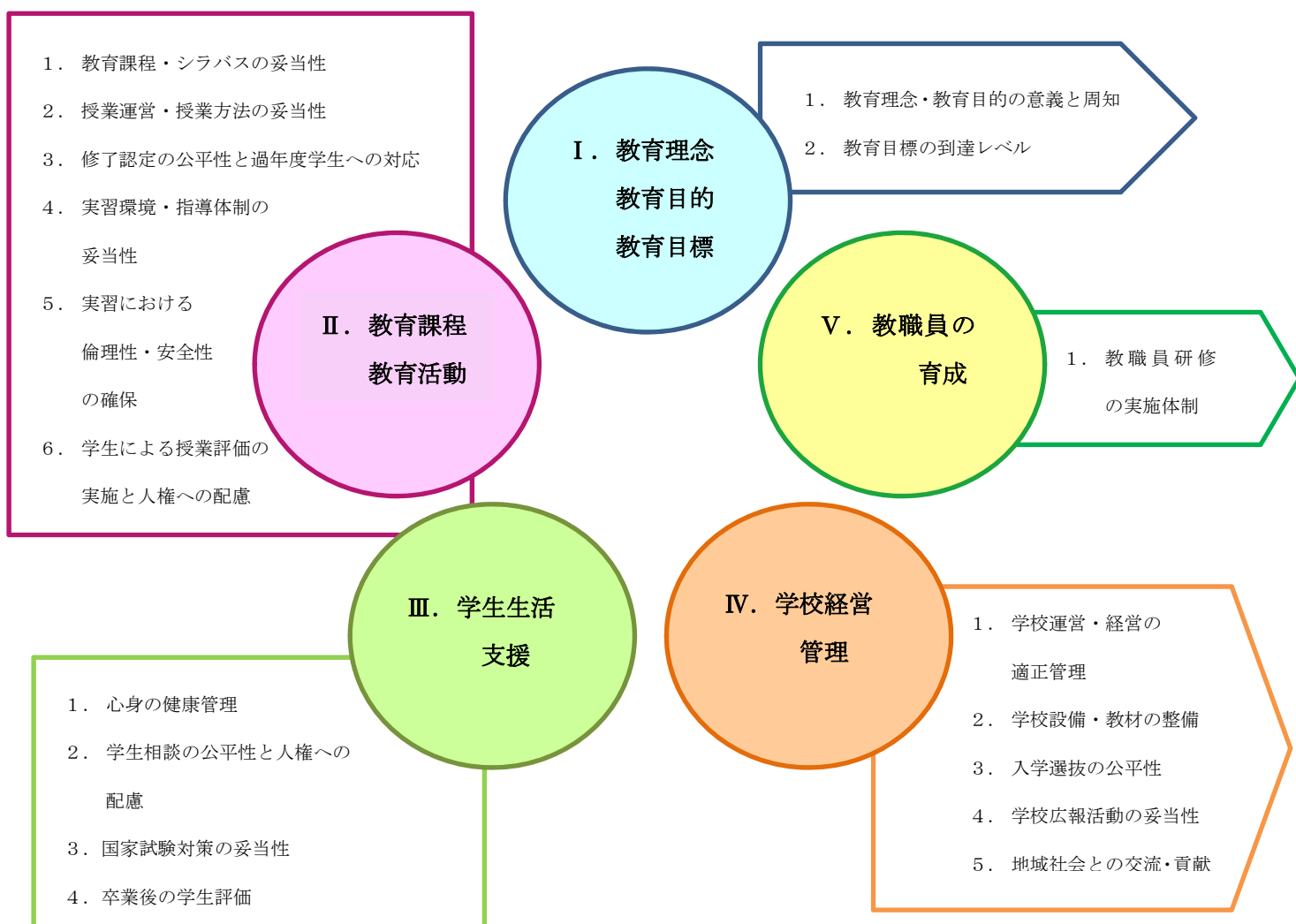
《学校自己点検・自己評価のねらい》

本校の看護基礎教育は、3 年課程である第 1 学科は 16 年目、2 年課程である第 2 学科は 36 年目を迎えました。准看護教育を含めると半世紀に及び教育活動を続けており、確かな実績と伝統に支えられています。地域社会や保健医療福祉領域に貢献する優れた看護師を育成するためにも、看護学校として質の高い教育体制を確立すること、学生にとって学習しやすい環境を整えることが重要だと考えています。

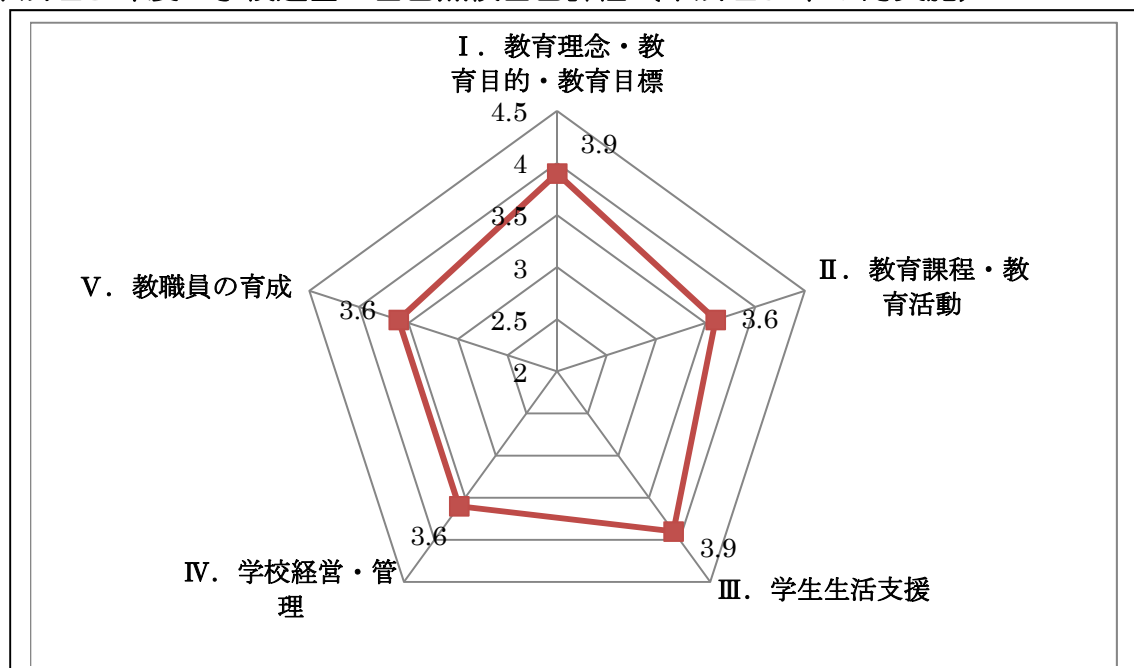
本校では時代の趨勢を見極めながら看護教育水準の向上を図るために、平成 18 年度から自己点検・自己評価委員会を発足させ、授業評価のあり方から議論を重ねてきました。そして、平成 24 年度から学校組織全体を総合的に「自己点検・自己評価」し、その結果を公開しています。

本校の基本理念である「人類愛」を実現し、「愛し愛される看護師」を育てるために、地域の皆さまや患者様から、また看護師を目指す若者・ご家族の皆さまから信頼され、「開かれた魅力ある学校づくり」を目指しています。本校の教育活動その他の運営状況について客観的に評価を行い、良い面はさらに伸ばし、また改善すべき点は明確にして、看護教育活動のさらなる向上を目的に努力し続けていく学校を目指し続けていきます。

《学校自己点検・自己評価の評価項目》



平成 28 年度 学校運営 自己点検自己評価（平成 29 年 1 月実施）



評価基準：5 かなり高い 4 高い 3 普通 2 低い 1 かなり低い

平成 28 年度、教職委員による自己点検・自己評価は、すべての項目で 3 以上であり総合平均点は 3.7 で全体的なバランスがとれているといえます。

【I. 教育理念・目的・目標】【II. 学生生活支援】が 3.9 と高い評価でした。評価項目で見ると、「II-5. 実習における倫理性・安全性の確保」、「III-1. 心身の健康管理」「III-3. 国家試験対策の妥当性」が 4.1 と特に高い評価でした。これらの項目は、本校教員が特に力を入れている教育で、計画的に実施し、学生一人一人にきめ細かで丁寧な指導をしているという自己評価の表れであるといえます。特に、今回の評価は 1 月に実施したため、国家試験の結果が出ていない状況での結果です。今年度の国家試験は、第 1 学科 44 名、第 2 学科 45 名（いずれも定数 40 名）全員合格となり、第 2 学科は 4 年連続の 100% となり本校の長年の国家試験対策が定着してきているといえます。

また、大項目 II、IV、V は 3.6 で、その中で特に、低い評価項目は、「II-2. 授業運営・授業方法の妥当性」、「II-4. 実習環境・指導体制の妥当性」、「IV-2. 学校設備・教材の設備」で 3.3 でした。II-2 では、各学科でカリキュラムの検討を行い評価し、次年度の方法を検討していますが、第 1 学科の定数増員により授業や実習調整が難しいことや、学生の学習能力等の変化などから、カリキュラムの変更や工夫するなどの必要性を教員個々に感じているといえます。今年度も継続してカリキュラムに関する検討を継続し、今の学生や社会の状況にマッチしたものを考えていく予定です。また、実習環境・実習指導体制への課題は、実習病院により違いがありますが、病棟が忙しく、看護スタッフの退職により実習指導者が兼任している病棟があったことが影響していると考えられます。この課題については、平成 29 年度の実習に向けて病院の担当者と早期に検討し対策を考えました。さらに、過年度学生への対応についての課題は、適切に対応できるように各学科で対策を検討し実施をしていく予定です。

各項目 4.0 以上を目指し、各学科・各担当・各業務で平成 29 年度の方針及び教育計画を立案し実施していきます。